

技術審査項目

【次期教育情報システム基本設計業務委託】

No.	提案項目	審査の観点	配点
1	(1)入札参加者の実績に関する提案 入札参加者が有する校務支援システム等の設計や構築実績について説明すること	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務を受託する企業として十分な実績を有しているか ・ゼロトラストやクラウドベースシステムの設計、導入実績を有しているか 	80
2	(2)プロジェクト体制や要員の資格・実績に関する提案 本業務の実施体制や要員が有する資格・実績について説明すること	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトを主導する者の資格や実績、能力は適切か ・プロジェクトを主導する者の受け答えや提案の姿勢は、本業務を担う者として適切か ・要員の役割分担が明確になっており、かつ適切か ・十分な業務経験や技能水準、資格を有するメンバーが参画しているか 	120
3	(3)次期システムに関する提案 次期システム全体構成について現時点での考えを対象範囲に沿って提案すること。全体構成はいくつかのパターンを準備しても構わないがその場合は、第一案がわかるように説明すること。 加えて、これらを要件定義、基本設計等するための費用について説明すること。 更に、構築した場合のライフサイクルコストを含めた構築費（イニシャル）・運用保守費（ランニング5年）の概算見積書を提出すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体構成は佐賀県が示す次期システムのコンセプトを反映したものになっているか ・全体構成は文部科学省「次世代の校務デジタル化」を反映したものになっているか 	120
4	(4)次期システムに関する提案 ①次期システムの機能要件に関する提案 現行のシステムからどのように変化させて、実現するのかの具体的な考え、実現手順・方策等を記述すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・機能要件について、現行システムからの変更点が整理されているか ・実現方法が具体的に記述されており、内容が適切であるか 	40
5	(4)次期システムに関する提案 ②次期システムの非機能要件に関する提案 信頼性、セキュリティ、可用性、拡張性、サービスレベル等、現在実現している非機能要件に対し、どのように変化・向上させて次期システムを実現するのかの具体的な考え、実現手順・方策等を記述すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・非機能要件について、現行システムからの変更点が整理されているか ・実現方法が具体的に記述されており、内容が適切であるか 	40
6	(5)ネットワークアセスメントに関する提案 県立学校のネットワークアセスメントについて、評価の観点や実施内容について提案すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークの課題や解決策について知見を有しているか ・ネットワークの課題となっている被疑箇所は妥当か ・アセスメントの実施内容は適切か 	80
7	(6)ヒアリング及び製品選定に関する提案 ヒアリング及び製品選定について提案すること。要求事項について、どのように実現するのかの具体的な考え、実現手順を記述すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング及び製品選定の委託内容に対する理解は適切か ・実施方法が具体的に記述されており、内容が適切であるか ・ヒアリングの実施にあたり学校現場の負担を軽減する工夫があるか 	80
8	(7)県内IT産業への貢献に関する提案 県内のIT技術や情報産業への具体的な貢献内容及び実現方法を提案すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・県内における情報産業の活性化やIT人材の増加に資する内容となっているか 	40
			600